

加美町 地域おこし協力隊



VOL. 7

【9月～11月の主な活動報告】

○加美町文化研修



11月3日、協力隊2年目の北川隊員・楊隊員・尾形隊員の3人で、加美町の文化について研修に行きました。

まず初めに、宮崎地区の「ホームギャラリーRei」を営む常陸れいさんを訪れました。

常陸さんは宮崎地区出身で、一度は上京したもの、ご高齢になるお母様のために加美町へ「ターン」されました。当初はギャラリーにする予定はなく、「自分で描いた絵を掛けられるスペースがあれば」との思いから、自宅を改築。その際、お披露目程度にお母様が描いた絵を飾ったところ、見に来られたお客様からの反響が大きく、「地元を少しでも盛り上げられたら」という強い思いによって、ホームギャラリーを始めたそうです。

常陸さんの絵は水彩画で、見たものや感じたものが繊細に描かれています。

年に一度、萩の咲く時期だけオープンするホームギャラリー。今回は、「思い出 おうち旅行展」という題で、フランスの世界遺産「モンサンミッシェル」や画家「ゴッホ」がかつて住んでいた家を描いた絵など、常陸さんが訪れた事のある五か国の絵が飾られていました。

飾られている絵を鑑賞していると、まるで描かれている国を実際に訪れたかのような気持ちになりました。



続いて、宮崎地区にある「切込焼（きりごめやき）記念館」に見学に行きました。

江戸時代後期から明治時代初頭まで、宮崎の切込地区で生産されていた陶磁器を「切込焼」と呼びます。仙台藩の御用窯や庶民向けの日用雑器も生産し、温かみのある素朴な魅力で多くの人々の心を惹きつけてきました。

館内には、切込焼の代表的な作品「らつきよう形徳利（とっくり）」などが展示されており、中でも、トルコブルー・紫・白の三色で彩られたお皿は、「東北陶磁の華」として珍重されています。どの陶磁器もとても素朴で美しく、私たちはいつしか切込焼の魅力に引き込まれていきました。

記念館では12月26日（日）まで、切込瀬戸山棟梁（きりごめせとやまとりよう）山下吉蔵の娘つね生誕170年記念「ぬくもりを、いつもでも」を開催しています。残された作品は多くありませんが、一つ一つに歴史的背景があり、当時の人々のドラマを感じることができます。



三か所目は、小野田地区にある「機織伝習館」にお邪魔しました。ここでは、草木染めや紬織りについて染織家の笠原博司（かさはらひろし）さんに教えていただきました。

織物に使われている糸は「蚕（かいこ）」という虫の繭糸を使っています。しかし、一本の細い糸では、織る際に切れてしまうので、何本かを紡いで一本にしています。そこからアルカリ性の洗剤で洗い、いよいよ染の作業になります。染の原料は自然の花や木の枝をじっくり煮込んで抽出したものです。この原料と薬品を合わせ、糸に色をつけていくのですが、原料が同じでも、薬品が違っただけで全く違う色になります。

笠原さんが生み出す色は全て自然から抽出され、全く同じ色がない唯一無二のものとなっています。

そして、糸が出来上がったら手作業で少しずつ織っていきます。機械ではなく、手作業することで、より一層織物の良さが引き立ちます。

最後は、中新田地区にある「工芸藍學舎（こうげいらんがくしや）」に行きました。



主宰は笠原博司さんで、「工芸は人間の生活様式すべてに繋がる」という思想のもと、様々な工芸家の作品を展示しています。

今回は、「北杜工藝展（ほくとこうげいてん）」が開催されており、藍學舎の東北へのこだわりとそれぞれの工芸分野で活躍中の実力作家達による作品を一堂に集めた、年に一度だけの催しとのことで、全国の工芸家が生み出す繊細で美しい作品を見学することができます。笠原さん自身の染織も展示しており、近くで見ると模様一つ一つが丁寧に施されおり、肌触りも機械で作られたものと全く違い、優しい質感でした。

今回、11月3日の「文化の日」にちなみ加美町の文化について取材しましたが、改めて町内に素敵な文化が根付いていることを知ることができました。取材に協力していただいた皆さま誠にありがとうございました。

地域おこし協力隊 活動報告

きたがわ ひかり
北川 日香里(2年目)

寒いのがとても苦手です...



クラリネットと違い、とても苦労しました

寒さが増してくる季節となりました。昨年の冬は、生まれて初めて大雪を見ました。地元では、くるぶしまでしか雪が積もらないのでとても新鮮でしたが、雪かきが想像以上に大変なうえ、道路がツルツルになりとても怖い思いをしました。今年はほどほどにしてほしいと思います。

さて、10月は初めてバスクラリネットの調整をしました。クラリネットと比べタンポ（音が出る穴を塞ぐパーツ）の大きさが全然違い、合わせるのにも時間もかかりました。2つのタンポが同時に閉じるバランス調整では、片方が強いと音の裏返りやこもった音になる原因となるので、その調整は修理の技術力だと痛感しました。とても時間がかかりましたが、修理完了することができたので良かったと思います。

また、12月12日（日）に国立音楽院ウインターコンサートを中新田バツハホールで開催しますので、是非お立ち寄りください！

よう さいよう
楊 采容(2年目)

大好きな冬が来ました！私の出番です！



テレビ番組の収録。緊張しています

加美町にきてから今まで、4回ほどテレビ番組に出演しましたが、今回初めて日本ではなく台湾で放送される番組に出演しました。本当に夢のようです！放送時間は30分でも、収録時間は10時間以上かかりました。天気が悪くても、日本語を上手に話すことができなくても、加美町の魅力を多くの台湾人に知ってもらいたいと思います、とても頑張りました。

そして、今年度は台湾講座の依頼を町内で4回もいただきました。町内の方々が台湾に興味を持ってくださるのは、私自身とても嬉しいです。

台湾では、高い山にしか雪が降らないので、私にとって雪を身近に触れることができるのは珍しい体験です。雪の大変さも知っていますが、それでも雪が降るこれからの季節が楽しみです！

皆さま体調を崩さないよう、お身体に気を付けてお過ごしください。

おがた しゅうと

尾形 秀斗(2年目)

秋の加美町は景色が一層彩り豊かに



秋の深まりを感じるルート347

10月から活動の拠点が加美町観光まちづくり協会に移りました。普段は、薬師の湯入口にある事務所で加美町の観光スポットのご案内をしています。

その中で最近多くいただくのが、ダムカードに関する問い合わせ。加美町には漆沢ダムと二ツ石ダムの2つのダムがあり、それぞれのダムがプリントされた「ダムカード」を、ダム管理事務所で配布しています。気になる方はお問合せいただけると嬉しいです。

また、10月から2ヶ月間、加美町・尾花沢市・大石田町の1市2町を対象とした秋のドライブスタンプラリーを開催しました。スタンプラリーが円滑に進むよう、トラブル発生時のマニュアルを作成する等、事業のサポートを行いました。

冬になればスキー、スノーシューも体験することが出来ます。是非、冬の加美町を楽しんでみてください。

もり ひかる

森 耀(1年目)

ほうれん草に力を入れています

こんにちは。東京から加美町に移住して、気づけば早や五か月！毎日新しい刺激を受けながら、こちらの生活にすっかり馴染みつつあります。

さて、前回の瓦版では、ほうれん草栽培にチャレンジし、土壌改良に取り組んでいるとご報告しました。その後8月に播種を行い、9月に無事収穫することができました。夏場のほうれん草はハウス内が高温になるため栽培が難しいのですが、こまめな水分管理が功を奏したようです。土産センターに出荷（アグリ神明名義）したところ、季節的な品薄と重なり連日の完売となりました。購入してくださった方がとうございました。



ほうれん草収穫中。絨毯みたいです！

現在も2作目のほうれん草を土産センターに出荷中です。来年1月頃まで継続的に出荷する予定となっています。少量出荷のため午前中に売り切れる日も多いですが、ぜひ一度覗きにきてください！

【9月より新隊員が加入しました！】

ささき しょう

佐々木 翔(1年目) 所属 タカノ産業株式

トライ&エラー 新たなチャレンジを楽しみます



協力隊兼二児の父親として頑張ります！

9月より鳴瀬地区のタカノ産業(株)で農業振興の隊員として活動しております、佐々木翔です。

地域おこし協力隊に応募したきっかけは、昨今のコロナ禍の影響による働き方の变化などにおいて、農業に大きな可能性を感じ、自身で挑戦してみようと思ったからです。20代の時ほどの体力ではなくなっていることを、毎朝の筋肉痛で痛感しながらも、優しく陽気な社員の皆さんに教えていただきながら過ごす加美町の日々は、とても新鮮です。

協力隊任期中は、活動のすべてが糧になると思い様々な事を学びながら新たなチャレンジを楽しみたいと思います。

また、農業素人だからこそ感じたこと、思ったことを発信し、同じように新たなスタートを考えている仲間たちに共有していけるような農業振興活動を行ってきたいと考えています。

○協力隊その他の活動

●グリーンツーリズムのサポート



登り方を説明中

9月22日、加美町グリーンツーリズム推進協議会では、仙台市内の中学生約200人を受け入れました。やくらい登山や染物体験があり、尾形隊員と楊隊員で登山ガイドのお手伝いをさせていただきました。やくらい山は標高わずか553mですが、その登山道は急こう配。こまめに休憩を取りつつ中学生がけがをしないよう声をかけながら案内しました。山頂に辿り着くと、大崎平野とやくらいガーデンの花畑を一望することができました！中学生の皆さん、今度はご家族を誘って登りに来てくださいね！

●やくらい登山道草払い

9月26日、加美町観光まちづくり協会主催の「やくらい登山道草払い」に北川隊員・森隊員が参加しました。登山客も多く、その年齢層も幅広いやくらい山。しかし、この季節の登山道は草が生い茂り、枯葉や枝が散乱し歩きづらい状態となっているため、参加者と一緒に除草や枝葉を除去しました。安全に登ってもらうためには、こうした裏方の作業が大事なですね。

後日、慣れない作業のため筋肉痛になりましたが、登山客が笑顔で気持ちよさそうに歩いている姿を見かけ、痛みも軽くなりました。



生い茂る草を刈っています

○協力隊OB・OGからのお知らせ

【第二回カミヤングイチ開催しました！】

11月3日（文化の日）に第二回目となるカミヤングイチを開催しました。当日は晴天に恵まれたたくさんのお客様がご来場くださり、各ブースは大いに賑わいました。前回より野菜の種類も量も、そして出展者も大ボリュームアップ！ということで、今回の出店者を紹介します。

KamiRu より「小瀬菜大根を使ったスパイスカレー」、小瀬菜大根応援隊による「小瀬菜大根（試食付き）」、地域おこし協力隊OB・OGメンバーのプラビラボから「こだわり野菜」、リロカリコクリの「石焼き芋と女川朝獲れ鮮魚セット」、アンサンブルコーヒークから「コーヒー・ホットチョコレート」、竹とんぼの「出張駄菓子屋」、モリヒトyuvakuから「クロモジ茶」、さらに屋内では坂上友恵さんによる「ヨガ体験」もあり、とても盛りだくさん！和気あいあいとした雰囲気の日となりました。今後もご期待ください！



今年も残すところあと少しとなりました。年末と言えば大掃除。皆さんは毎年大掃除を行っているでしょうか。私は、ほこりやゴミを持ち越すと来年の運が下がると思っているので、毎年大掃除をしています。コロナ禍であり出かけられないからこそ、家族総出で大掃除を…なんてこともできるのではないのでしょうか。良い年を迎えられるよう、皆と一緒に大掃除を頑張りましょう！